

# 東京都公園審議会

(平成30年度 第1回)

第二本庁舎 3 1 階特別会議室 2 2

# 次 第

(1) 開 会

(2) 会長、副会長の選任

(3) 議 事

〈報 告〉

① 「公園緑地事業について」

② 「新ズーストック計画について」

〈審 議〉

議 案 「都立明治公園の整備計画について」

諮問

(4) 閉 会

## 報 告

- ① 「公園緑地事業について」
- ② 「新ズーストック計画について」

# ① 「公園緑地事業について」

## ・建設局が所管する都立公園・霊園等

### ○ 都立公園・・・82公園

(上野恩賜公園、井の頭恩賜公園、野山北・六道山公園など)

### 庭園・・・9か所

(浜離宮恩賜庭園、小石川後樂園、六義園、殿ヶ谷戸庭園など)

### 動物園・水族園・・・4か所

(恩賜上野動物園、葛西臨海水族園など)

### 植物園・・・2か所

(神代植物公園、夢の島熱帯植物館)

### ○ 都立霊園・・・8か所

(青山霊園、多磨霊園、谷中霊園など)

### ○ 葬儀所・・・2か所

(青山葬儀所、瑞江葬儀所)

- 都立公園の多面的な活用の推進方策  
マーケットサウンディング調査の実施等
- 日比谷公園のランドデザインについて  
平成29年10月に検討会を設置、検討

# 都立公園の多面的な活用の推進方策

平成29年5月

## 東京都公園審議会「都立公園の多面的な活用の推進方策について」答申

新たな社会要請に応える都立公園像を示し、その実現に向けた戦略的な一步を、  
官民の連携・協働により進めるための方策を明示

- ・方向性：①緑とオープンスペースの重要な機能の確保・向上、②都立公園ごとの個性・特性の発揮、③まちの中の心地よい場の創出、④官民の連携・協働
- ・推進方策：①民間活力の発揮、②都立公園としての公共性の確保、③官民連携・協働の推進

## 民活手法を活用した公園の魅力向上策

### ○マーケットサウンディング調査

マーケットサウンディング調査実施  
(対話型個別ヒアリング)



事業効果や実現可能性の高い事業につなげる

[スケジュール]

平成30年5月31日公募、

7月～8月 対話型個別ヒアリング

9月 調査結果概要を公表

### ○木場公園飲食店事業者の公募

民間事業者が、アイデア・ノウハウを生かし、飲食店を設置、運営



事例：駒沢オリンピック公園(レストラン)

[スケジュール]

今年度中に公募

# 日比谷公園のランドデザイン検討について

## 目的

昨年5月の東京都公園審議会の答申「都立公園の多面的な活用の推進方策について」を受けて歴史ある日比谷公園の特性を踏まえつつ、現代の多様なニーズ、周辺のまちづくりとも連携し、現代にふさわしい公園として、その将来像や今後の再整備のあり方等について検討

## 開催経過

平成29年度 3回開催

## 委員

座長 進士 五十八ほか10名



日比谷公会堂



② 「新ズーストック計画（案）について」

野生生物を守り伝えるために  
～新ズーストック計画（案）～



建設局 公園緑地部  
計画課



# これまでの成果



☞ 計画期間：平成元年～

☞ 動物園に必要な動物は可能な限り動物園などで繁殖した動物を展示するべき、という考えのもと、優先的に希少種から繁殖に取り組んできた

☞ 成果

対象50種中38種で繁殖成功（76%）

…ニシゴリラの群れ展示による繁殖

…コウノトリの繁殖技術の確立 など

# 新ズーストック計画



- ❧ 計画期間：平成30年～概ね10年
- ❧ 「都立動物園マスタープラン」を踏まえ、種の保存、環境教育の場としての機能強化を図るため策定
- ❧ 種の保存、野生生物保全、環境教育や普及啓発の視点で、10年後の目標を設定し、PDCAサイクルで取り組んでいく

# 新計画のポイント



## 種々の保存の強化

野生動物の減少、法規制強化や動物福祉の高まり等により、動物入手の困難な状況が深刻化

⇒ 50種から124種に対象を拡大、繁殖を強化

## 野生生物保全に貢献

生物多様性保全への関心が高まり、動物園への期待も増大

⇒ 生息地域外での保全（域外保全）とともに  
生息地域内での保全（域内保全）も位置付け

## 環境教育や普及啓発の強化

野生動物や地球環境の保全の必要性の高まり

⇒ 環境教育や普及啓発を位置付け、強化

# 計画の対象種①



旧ズーストック種 50種



継続 36種	ジャイアントパンダ、ニシゴリラ ユキヒョウ、ツシマヤマネコ フンボルトペンギン アルダブラゾウガメなど
中止 14種	市場流通 6種（オーストラリアハイギョなど） 特定外来生物 1種（シフゾウ） 入手・繁殖困難 7種（ドール、ハハジマメグロなど）

# 計画の対象種②



新ズーストック 追加種*1	選定基準			対象種	
	希少性の指標		繁殖可能性 のある 飼育状況		
	ワシントン条約 種の保存法 文化財保護法	東京都 レッドリスト			
国内外の希少種	●		●	74種	アジアゾウ、カバ、ワオキツネザル、アカガシラカラスバト、トキ等
東京都 レッドリスト種*2		●	●	14種	アカハライモリ、トウキョウサンショウウオ、トビハゼ等
合計					88種

\*1 繁殖個体が安定的に市場流通している種、特定外来種は除外し、入手および繁殖が困難な種は見合わせた。

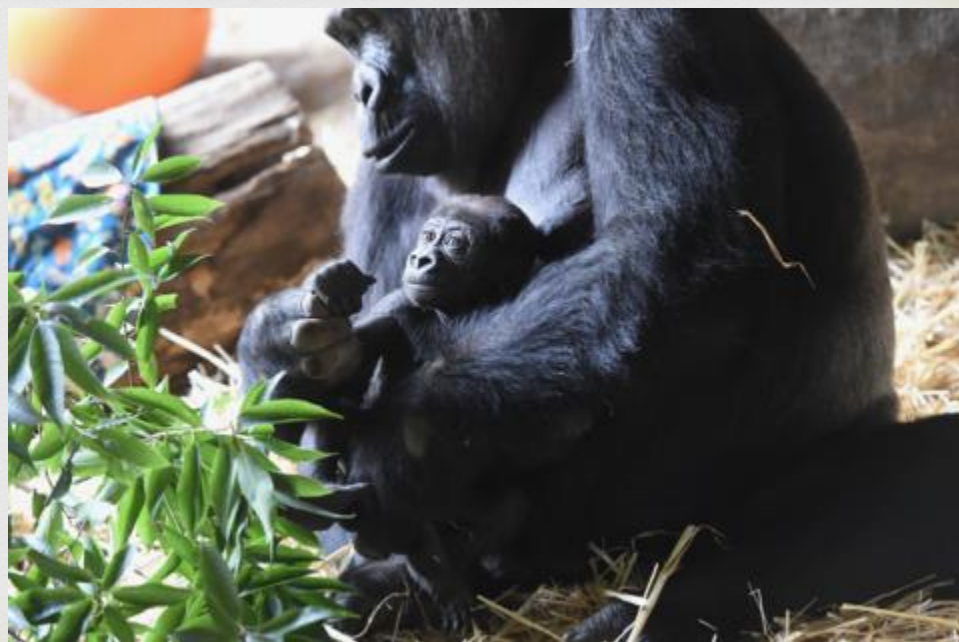
\*2 原則として東京産個体群の飼育繁殖に取り組む種

# 対象種の実組状況①



## ニシゴリラ

- ・旧計画から引き続き、繁殖を推進
- ・平成29年10月9日 オスの赤ちゃん誕生



# 対象種の実施状況②



## トキ

- ・ 昭和43年～ 定期健康診断に協力
- ・ 平成11年 佐渡にトキ導入時に職員派遣
- ・ 平成19年～ 鳥インフル対策緊急避難措置で飼育開始
- ・ 平成21年 第2回放鳥に多摩繁殖個体が使われる



# 対象種の実組状況③



## アカハライモリ

- ・平成14年～ 多摩市内で生息地を発見・調査開始
- ・平成15年～ 造成した産卵場での産卵確認。  
以降、徐々に新規個体の確認数が増える
- ・平成21年～ 地元小学生対象の体験学習開始
- ・平成25年～ 一般向けの観察会を開始

毎年、数回、現地環境を維持するため職員が作業。  
生息域内保全への直接的な貢献と教育普及活動を行っている。



# アカハライモリ



# 新計画の検証と評価



## ∞ 目標設定と評価

- ・ 対象種ごとに、飼育繁殖・保全・普及啓発の  
10年後の目標を設定
- ・ 毎年、評価検証会議を開催し、PDCAサイクルで  
目標達成を目指す
- ・ 概ね10年毎に、計画と対象種を見直す

# 今後の進め方



## 今後の進め方

- ・ 有識者の方の意見聴取後、整理中
- ・ 夏を目途に公表の予定

# 議 案

「都立明治公園の整備計画について」 諮問

東京都公園審議会条例第2条の規定により、下記事項について諮問する。

平成30年6月25日

東京都知事 小池 百合子

記

都立明治公園の整備計画について

# 都立明治公園の整備計画検討スケジュール（案）

- ・平成30年6月25日 諮問（現状と経緯）
- ・平成30年11月 審議（整備計画について）
- ・平成31年1月 中間のまとめ
- ・平成31年2月 都民意見募集（パブリックコメント）
- ・平成31年5月 答申

# 明治公園の概要

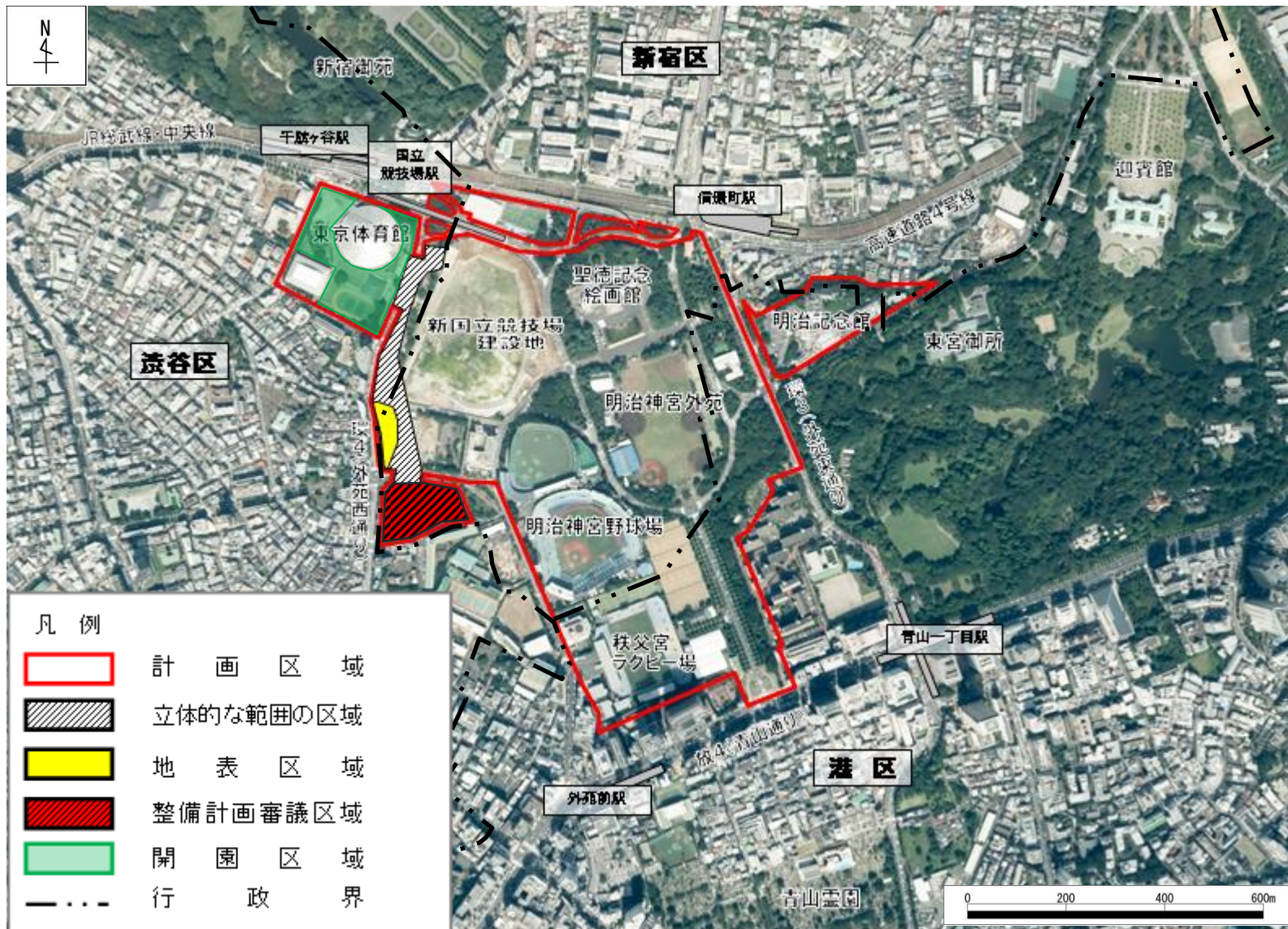
## ○都市計画

- ・ 都市計画名称  
東京都都市計画公園 第5・7・18号 明治公園
- ・ 当初告示 昭和32年12月21日  
最終告示 平成29年11月30日
- ・ 都市計画決定面積 約58.5ha
- ・ 位置 港区元赤坂二丁目、北青山一丁目、北青山二丁目  
新宿区霞ヶ丘、大京町、南元町  
渋谷区千駄ヶ谷一丁目及び千駄ヶ谷二丁目各地内

## ○開園

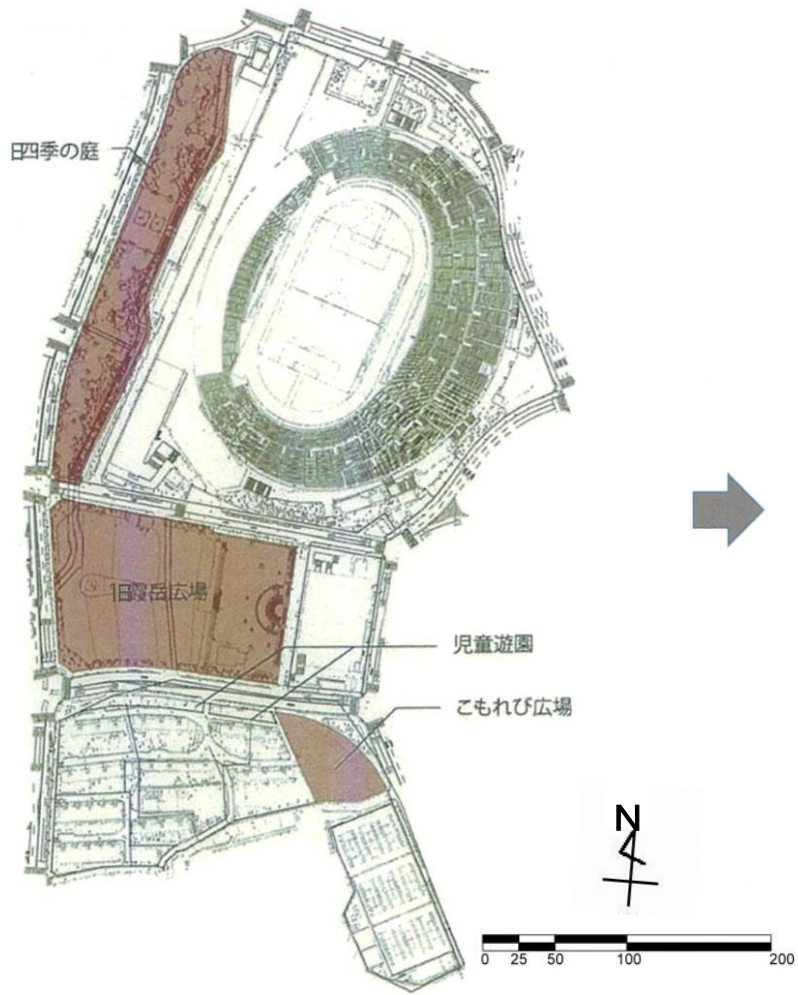
- ・ 開園年月日 昭和39年10月1日
- ・ 開園面積 約2.8ha（平成30年6月 現在）
- ・ 審議対象 別紙のとおり

# 都市計画明治公園と整備計画審議区域

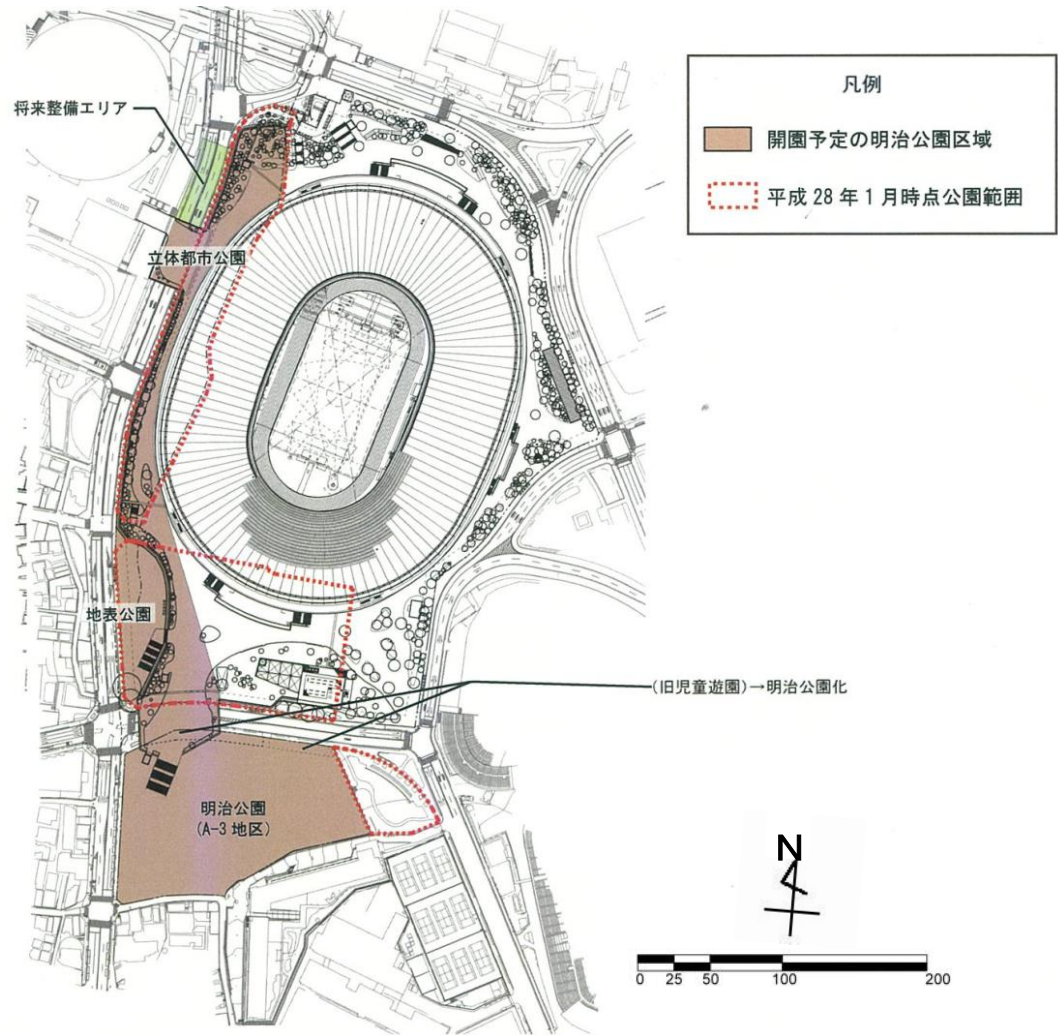




# 都立明治公園の再編



平成 28 年 1 月時点

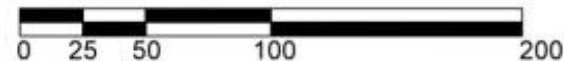
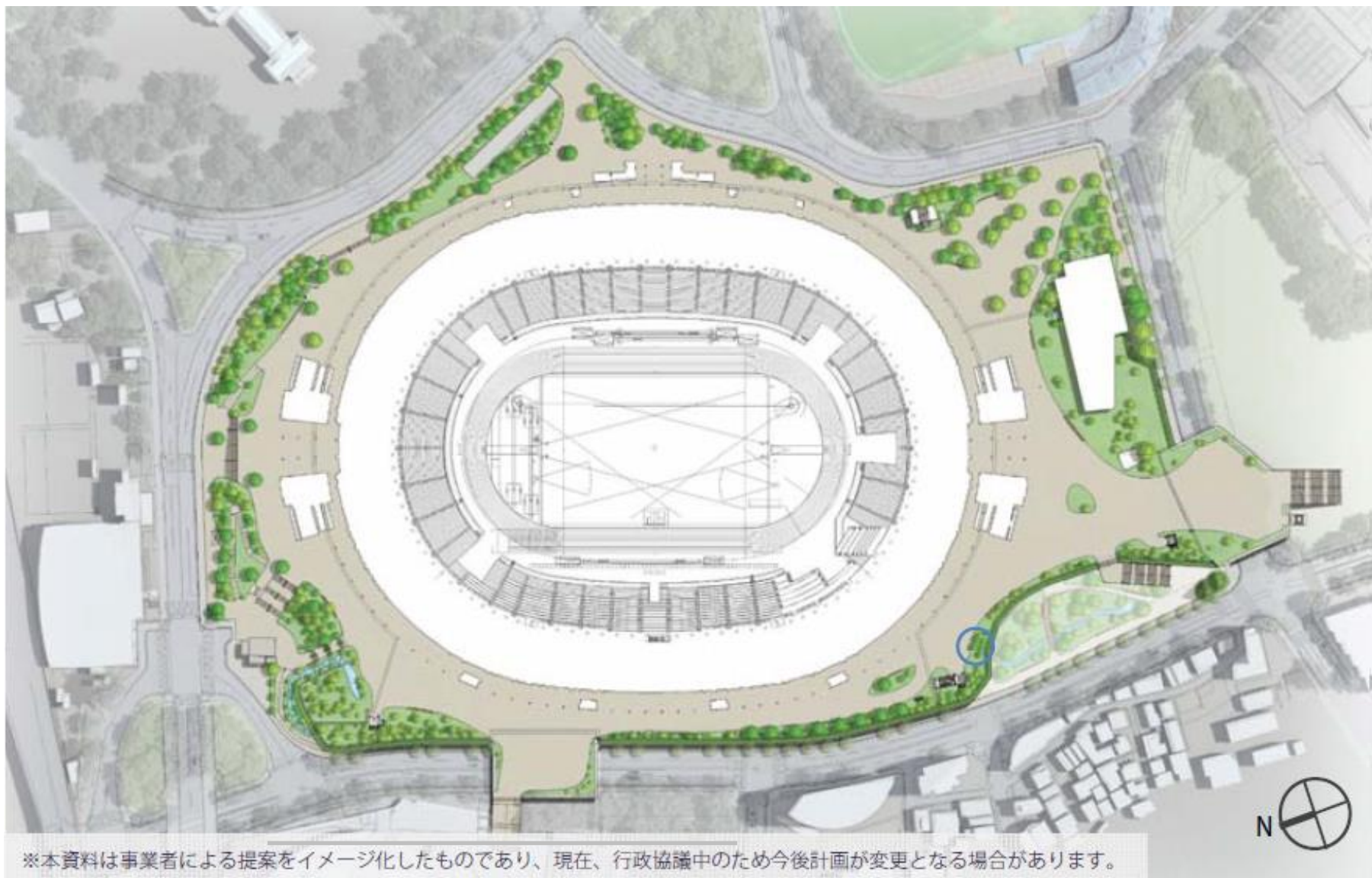


再編整備後

大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成/JSC提供

注) パース等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。植栽は完成後、約10年の姿を想定しております。

# 新国立競技場エリアにおける都立公園となる区域図



大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成/JSC提供

注) パース等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。植栽は完成後、約10年の姿を想定しております。